



香風

令和6年
10月11日 第9号
編集責任
校長 小川 雄一郎

〔南中学校 学校教育目標〕

「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

〔中期的な教育目標〕

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成



〔本年度の重点目標〕：「自分で考え、行動する生徒の育成」→「考動」

朝のさわやかな風、校内に響く生徒たちの合唱・・・南中にようやく秋が訪れたと感じています。新入大会では、二日目に残ることはできなかったものの、各部とも、試合や試合に伴う係活動の経験をしっかり積んできたようです。新学期から半年が過ぎ、前期終業式を迎えました。

<終業式 校長式辞より>

始業式、入学式から半年、自分が成長した実感はありますか？体の成長・心の成長・学びの成長いろいろあるでしょう。

この半年の皆さんの成長を各学年の先生に聞いてみました。1年生は「人の話を聞く姿勢や互いの関わり合いが、少しずつだが、よくなってきた」、2年生は「学習に対する意識が高まった生徒が増えた」「考えて行動する生徒が増えてきた」、3年生は「生徒から『考動』という言葉をよく聞き、その言葉通りに行動しようとする生徒が増えてきた」「あいさつをよくするようになった」。半年という時間の経過とともに、学年としての成長が見られるようです。特に、「考動」を意識して動き始めた人がいることを嬉しく思っています。

一人一人の「学び」の結果である成長と課題は、皆さんが手に取る通知表にしっかり記されています。各教科の先生方が授業を振り返り、頭を悩ませ、出された成績、担任の先生が皆さんの顔一人ひとりを思い浮かべながら、頑張ったことや成長してもらいたいことを書かれた所見。両方ともしっかり見て、自分を振り返る材料にしてください。

「学び」について、こんな言葉を言った人がいます。

「勉強するから何をしたいかわかる。勉強しないから、何をしたいかわからない。」つまり・・・学べば、いろいろな知識が入り、物事を理解し、世の中を知ることが出来る。つまり、自分の世界が広がる。そうすると、自分のやりたいこと、目標が見つかる。目標が見つかれば、さらに、自分から学ぼうとする。逆に、学ぼうとしない人は、何も知ることができず、理解も出来ず、自分のやりたいことも見つからない。目指すものがないので、さらに学ばない・・・ということになります。みなさんは、どちらを選びますか？



○ 八女市中学生平和学習事業報告

8月5日・6日に行われた八女市中学生平和学習事業に参加した2年の
さんが、平和祈念式典への参加、原爆資料館の見学を通して、自分の心の変化、そして自
分にできることから平和をつくることの決意を全校集会で報告しました。

私は、八女市平和事業で広島に行き、8月6日に広島市で行われた「平和祈念式典」に参加しました。会場には、朝早くにもかかわらず、子どもから年配の方まで、とても多くの人がありました。式が始まると、こんなにたくさんの人がいるのにとても静かで、時が止まっているような初めて感じる緊張感につつまれました。とても私語ができるような雰囲気ではなく、会場に一体感があり、真剣に話を聞いていました。式の中で、私が特に印象に残っていることが二つあります。一つめは、8時15分になり黙とうをしていた時の鐘の音です。その鐘の音は、鳴っている間、耳の奥や頭の中に響いていました。私は、その音が戦争の重みのように感じ、79年前のヒロシマを思うと何かわからないけれど、心の奥にジーンとくるものがありました。二つめは、子ども代表からの「平和への誓い」です。その言葉で原爆がどれだけ恐ろしいものか、どれだけたくさんの人を今も悩ませているのかがわかりました。日常を奪い、広島を「地獄」に変えてしまった。今もまだ、戦争で苦しんでいる人がたくさんいるということでした。私はその話を聞いて、原子爆弾は本当にすごい威力だったんだと感じました。式に参加できたことは、とても貴重な体験でした。式の緊張感や雰囲気、学んだことを忘れないでいようと思いました。式が終わった後は、原爆資料館へ行きました。資料館に入ると、雰囲気が重く感じました。中には、たくさんの方がいて、そのほとんどが外国人でした。入ってすぐのところに原爆が落ちた時の街の様子の写真がありました。今の様子からは考えられないほど悲惨で、建物も何もかもひどく崩れてしまっていました。また、原爆が落ちる映像があり、見てみると私が想像していたよりも、広い範囲に被害があったことがわかりました。他にも、ひどいけがを負っている人の写真や、親が原爆で亡くなり子どもだけ生き残った人、原爆で放射線をあびて亡くなった人、後遺症が残り今もずっと悩まされている人がいるということがわかりました。私は、学校で平和学習をして戦争や原爆が恐ろしいことは知っていると思っていたけれど、原爆資料館の写真や映像を見て、全然わかっていなかったことに気づきました。正直ショックでした。見たくなかったし、気持ち悪いとも思いました。けれど、これが戦争の現実で気持ちも落ち込みました。しかし、外に出ると青空が広がり、いつもの日常、平和な世界がありました。平和とは何だろう。平凡な毎日。御飯がおいしいこと。今人それぞれ違うけれど。私たちが平和の尊さや、原爆の恐ろしさを伝えていかなければなりません。私はその一歩を踏み出せたと思います。私が命を大切にしていけるためにできることは、まずは、身近なことから思いやりをもって行動すること、違いを受け入れることだと考えました。原爆について知り、普段の生活から私たちにもできる平和を広げていきたいと思います。平和な世界をつくるために、皆さんも一歩踏み出しましょう。

(2年)



○ 行事予定（令和6年10月15日～11月 1日）

月日	曜	行事等	月日	曜	行事等
10月14日	月	市民コンサート(おりなす 10:30~)	24日	木	あいさつ運動(生徒会) 全校合唱練習 ゲネプロ 前日準備 部活中止 定退日
15日	火	後期始業式 生徒会認証式	25日	金	合唱コンクール 片付け 反省
16日	水	学年合唱練習	26日	土	九州 PTA 研究大会(~27日 長崎)
17日	木	あいさつ運動(生徒会) 八女地区音楽会 学年合唱練習 部活中止 定退日	28日	月	英語 IBA テスト(1・2年) 生徒会退任式 中央専門委員会
18日	金	朝活:視写 全校合唱練習	30日	水	学力診断テスト(3年)
19日	土	花いっぱい運動	31日	木	あいさつ運動(生徒会) 部活中止 定退日
21日	月	学年合唱練習 全校合唱練習	11月1日	金	碾き臼体験(3年) 第3回定期考査範囲発表 中央委員会(放課後)
23日	水	筑後地区駅伝大会 ゲネプロ準備			